

事業所紹介

きつき訪問看護ステーション

かかりつけの医師の指示に基づいて、床ずれの処置、清拭、洗髪・カテーテルの管理・食事・排泄の介助等を行っています。

訪問看護とは...

病气や障害があっても、長年住み慣れた自宅で暮らしたい... そんな願いを実現できるように、プロの知識と技術をもった訪問看護師が、かかりつけ医との連携をとって必要な看護をお届けします。



りまで性別

国籍、宗教等に関係なく行います。介護保険、医療保険、老人保健等の利用ができます。医療保険の場合、当ステーションまたは、かかりつけ医へ。介護保険の場合、当ステーションまたは、きつきケアプランステーション、お近くの居宅介護支援事業所、杵築市福祉事務所、杵築市在宅介護支援センターへご相談ください。また、訪問看護ステーションでは看護学生の実習受け入れも積極的に行っています。今年度は既に二校より22名の学生さんの受け入れを行っています。

0978-66-5500

夜間防災訓練

11月6日に夜間防災訓練が行われました。いつもは日中に行われる防災訓練ですが、今回は、夜間の火災を想定しての防災訓練でした。夜勤の職員以外は一度自宅に帰



り、夜7時の電話連絡から一斉に集合し、利用者様を離床介助しホールに誘導するもので、本番ながらで行われました。職員の頑張りとお利用者様の協力もあって開始より17分35秒で誘導完了し、怪我や事故もなく無事に終了しました。利用者様の中には「夜中やから眠いわぁ」と言われる方や、「あんたら夜中やのに大変やな」と



火災などは無いことが一番ですが、実際に起こってしまった時にはしっかりと誘導できるよう、そして火災を起こさないように職員一同、気をつけたいと思います。(山田)

編集後記

早いもので今年も残すところ一ヶ月あります。皆様は年頭に立てた目標は達成できましたか?今からでも間に合う目標であれば頑張ってみませんか?...なんてエラそうに書いてみましたが、私もまだ目標を達成していません。(苦笑) そのうちのひとつ、ホームページのリニューアルにやっとり取り掛かることができず、必要なプログラムは組み終えたので後はデザイン。今回(すでに稼働させています)瑞雲荘ユーザーの空床状況をホームページで確認することができるようになりました。お役に立てば幸いです。また、携帯サイトも今後充実させてまいります。(藤本)

携帯サイト QRコード

社会福祉法人ひまわり理念
利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること
基本方針
利用者のあるがままの姿を受け入れ、見守り、優しい安らぎのある施設にします
利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく(気持ちの良い態度)で接します
日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索 0978-52-2233 http://www.wel-himawari.net



三楽園での衛藤外科主催勉強会

定期勉強会
理事長が院長を務める衛藤外科主催の今年度第二回目の定期勉強会が10月24日、三楽園デイサービスセンターで開催されました。今回は「消化器官用剤」について永松薬局大内店薬剤師の平田先生に講師をお願いし、衛藤外科職員12名、ひまわり職員12名の参加で行われました。瑞雲荘より参加した看護職員は「主に潰瘍治療薬についての勉強会であったが、現在の医療は原因を追求した上で、たとえ胃薬であつ

ても有効な薬剤を必要期間に限定して投薬を行い、いつまでも長期にわたり服用を続けることのないよう注意したい。また今後も基本方針にもあるように、専門機能の研鑽を積めるよう積極的に勉強会に参加したい」との感想を今月の職員会議で報告し、研修内容の伝達講習を行いました。(藤本)

委員会全体会

委員会活動報告 瑞雲荘



サービス向上委員会、安全管理委員会ともに我々が普段行う業務の文書化の作業を行っています。

普段行っている業務を文書化することにより、サービスの見直しを行いサービスの質の向上や均一化を図ります。(一丸・山田)

環境整備

夏から秋の花が終わり、瑞雲荘の花壇もさびしくなってきましたので、冬から春用の花の苗を植えました。この日は少し寒かったため職員のみで植えました。暖かい日があれば次は利用者様と一緒に作業をしていただこうと考えています。



定期健診

利用者様の定期健診を行いました。採血等は事前に済ませており、11月19日に大分県地域保健支援センターの巡回健診車によるレントゲン撮影を行いました。肌寒い日でしたが、時間程度で全員撮影を無事終えることができました。



今回の発行に紅葉狩り等の大きな外出行事は間に合いませんでしたが、各施設とも利用者様に喜んでいただけるような行事やレクリエーションで楽しんでいただきました。

### きつきの里 デイサービスセンター

朝、夕と寒さが増し、こたつの恋しい季節となりました。



## 各施設の行事報告

また日が暮れるのも早くなりましてね。10月の下旬に「秋の味覚」と称して旬の物を美味しく料理した昼食を皆様に食べて頂きました。見た目も美しく、味の方も満足して頂いた様です。



10月から11月にかけてボランティアの方による催しがたくさんありました。まず10月27日「劇団やじろべえ」の方々による踊り、民謡、太鼓、皿まわし

と盛りだくさんの内容で見ている皆様に笑いと感じてもらえたと思います。中でも太鼓は迫力ある音で勇ましいものでした。



10月30日は「わかば会」の方によるカラオケがありました。毎月1回来ていただいておりますが、さすがにとりと聞かせる歌あり、元氣一杯の踊りありと今回もにぎやかに盛り上げて下さいました。

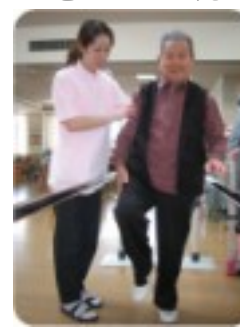


11月9日は踊りの「よしみ会」の方が来て下さいました。美しい着物で踊られる姿は利用者様を魅了していました。なかでも来年90歳になられるという方の踊りはしつかりとした足取りで、利用者様の皆様はびっくりされていました。「元氣の秘訣は？」と尋ねたところ「笑

う事です」と答えられたのがとても印象的でした。



11月13日、八坂幼稚園の皆さんとの交流会を行いました。フロア内、元氣な園児達の声が響き、かわいいうるりを披露してくれました。帰りには園児手作りのクッキーと元氣をもらい、皆さん大変喜んでおられました。



また、きつきの里では毎週土曜日に皆様の健康維持のため理学療法士の先生によるリハビリ指導を行っております。皆様一生懸命取り組まれています。 (佐藤敦)

### 三楽園 デイサービスセンター

## 三楽園の晩秋

朝夕めっきり寒くなり、冬の息吹が感じられ、火の恋しい季節となりました。これからの時は、かぜ、インフルエンザ、火災等には十分気をつけなければなりません。



## 各施設の行事報告

かぜの予防は、食事・睡眠・(適度な運動)をしつかりと取り、外出された後は、うがい・手洗いの習慣、汗をかいた下着は早めに着替え、入浴後は身体を冷やさないように心がけたいものです。

また、11月9日から「平成19年秋季全国火災予防運動」が始まりました。(15日までの7日間)そこで今回、火災(火災予防等)の留意点についてまとめました。住宅火災による発火源をみると、たばこ・ストーブ・コンロとなっていています。取扱には、十分な配慮と細心の注意をお願いします。いざという時の消火器使用期限の確認も必ずね！

など対策を心がけたいものです。

火より怖い煙 煙はこんなに危険・・・煙の中に入ると視界がさえぎられ、真っ暗やみの中に入ると同じ状態です。不完全燃焼のため発生する(一酸化炭素)気体は中毒を起させることがあるので、煙の性質を知り、一刻も早く逃れることが一番です。

濡らしたハンカチやタオルを鼻と口にあて(呼吸は鼻から吸って口から吐く)できるだけ低い姿勢で避難してください。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。災害から身を守るには、日頃からの心がけや備えが大切です。お便りを通していざという時に備えて頂ければ幸いです。

### 気づき日記

どなたでも気軽に訪れることができ、心地よく過ごして頂くようにと、玄関まわりや建物の周囲には草花を植え、また、装飾(玄関先に季節感あふれる品物や・愛らしい置物)を施し、家庭的で温もりのある共用空間をご提供しています。



## 誕生日会

### 瑞雲荘

10月30日に行われた誕生日会では、10月と11月の誕生日者13名のお祝いをしました。



まず、施設長より記念品とレイの贈呈が行われました。その後、施設長のお祝いの言葉、利用者代表よりお礼の言葉と続き、お祝いのセレモニーとなりました。くす玉割りに始まり、鬼の格好をした職員による寸劇では、利用者も職員も大笑い。鬼に捕まえられて鬼のパンツを履かされる利用者様もいて、「こら、あつたけーなあ」というコメントも飛び出しました。

なにより盛り上がったのは、いつも散髪にきて下さる木下理髪店の方々がお返りを披露してくださいました。歌や踊りを披露して下さったときでした。歌を聴き泣く方、踊りを見て目を輝かせる方、一緒に踊る方と大変喜んでいました。お忙しい中、利用者様のために来荘していただき大変ありがとうございます。 (山田)

